

1 持続可能な社会推進委員会

2 委員長方針

3 可児将太郎

4 委員会日：毎月15日前後

5 =委員会メンバー=

6 副委員長：鈴木 佑将 高木 良

7 運営幹事：吉村 栄里

8 会計幹事：後藤磨衣子

9 委 員：加藤政太郎 塚田 紳也 馬場 康彰 福沢 高志

10 保母 陽伺 山田 淳詞

11
12 中津川市は企業立地などを行い、商工業都市として成長してきました。しかし、平成1
13 8年を境に事業所数の減少と共に人口も減少しています。今後、この動きは少子高齢化の
14 影響を受け更に加速し、20年後には現在の約20%の労働人口の減少が予測され、今以
15 上に活気が薄れていくように感じます。中津川市が活気に溢れ、持続可能なまちとなるた
16 めには、企業が将来の社会ニーズを見据え活動していくことが重要ではないでしょうか。
17 そのためにも、SDGsの必要性を理解し、環境・社会課題の解決を経済活動に取り入れ
18 ていく必要があると考えます。

19 本年度、持続可能な社会推進委員会では、持続的に発展できる中津川を創造するため
20 に、私たちがこの地域の企業と共に経済・社会・環境の3つの調和を考えることができる
21 SDGsに取り組んでまいります。そのためには、まず企業と共にSDGsの本質と導入
22 するためのプロセスを学び、企業での課題と地域の課題を照らし合わせて考える意識を持
23 つ機会としてまいります。そして、行政と共にSDGsの取り組みを市民に発信していく
24 ことで、今後将来的にまちへの当事者意識をもった人が増え、持続的に発展し続ける中津
25 川に繋がると考えます。

26
27 また、担当する事業として卒業生を送る会の開催があります。長年にわたって青年会議
28 所活動にご尽力された方々の門出が忘れられぬ良き思い出となるよう誠心誠意、心をこめ
29 て卒業式を設営させていただきます。

30
31 本年度、持続可能な社会推進委員会では「一致協力」をテーマに1年間活動をしてまい
32 ります。私は委員長として、メンバーの貴重な時間を無駄にすることがないよう事前準備
33 を大切にし、効率的な委員会運営に努めてまいります。最後に委員会メンバーにはお互い
34 を理解し、思いやりをもった行動を心がけていただきたいと思います。

35
36 <事業計画>

<事業予算>

- | | | |
|----|-------------|-----------|
| 37 | ・持続可能な社会の推進 | ・220,000円 |
| 38 | ・卒業生を送る会の開催 | ・65,000円 |